

令和元年 10 月 23 日

学長

高知短期大学の閉学について

高知短期大学は、勤労者のための高等教育機関として昭和 28 年 4 月に開設し、社会科学系に重点を置いた教育を通じて、本県の人材育成に重要な役割を果たしてまいりました。

しかしながら、教育の高度化やニーズの多様化により高等教育機関に求められる役割が大きく変化し、高知短期大学においても、働きながら夜間に学ぶ学生の割合が減少するとともに、4 年制大学への編入を希望する学生が多くなりました。こうしたことから、新たな永国寺キャンパスの整備に併せて、高知県立大学と高知工科大学が高知短期大学の機能を引き継ぐこととなり、高知短期大学の学生の募集を平成 27 年度から停止し、高知短期大学は発展的に解消することとなっていました。

このたび、高知短期大学は、最後の学生が令和元年 9 月 30 日に卒業されたため、文部科学省に対して廃止の手続きを行い、閉学することとなりました。

これまで、高知短期大学で学んでいただきました卒業生並びに学生の学びを支えていただきました教職員の皆様には、高知短期大学の発展に多大な貢献をしていただき、心から感謝申し上げます。また、長い間、高知短期大学を支えてくださいました県民、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

※ なお、高知短期大学の廃止の日は、文部科学大臣から認可された日となります。廃止の日が決まりました時点で、証明書発行の事務手続きなども含めた今後の取扱いをご案内させていただきます。